



◆ 野外オペ「西オングル」その②

18日、7:30起床・朝食。9:00出発。今日は、西オングル東域の対空標識の補修です。最初に、先日、下野・大山隊員が新規に設置した三角点のGPS器材撤収に向かいました。直線距離で約2.5km。しかし、当然、人が住んでいないので道はありません。地図とコンパスを頼りに、露岩を上り下り、雪渓を渡りと約1時間かけて目的地に到着しました。昨夜は風が強く、GPS器材がずれたりしてないか心配されましたが、大丈夫でした。すぐそばには、地温計がありました。詳細は分かりませんが、地中2m間に12個の温度センサーを備え、1時間に1回データサンプリングを行なっているとのこと。地球温暖化の研究の一環だそうです。また、岩石の風化度検証の場もありました。海水を浸み込ませた岩石を数年前?に置いたとのことですが、写真のように見る影もなく風化し粉碎していました。その後、2カ所の三角点(右の写真がその三角点です。どちらも、観測隊初期の50年以上も前に設置されたものです。)の対空標識の補修を行いました。のべ4時間かけて西オングルの東西方向を往復し、歩数計は2万歩を記録しました。昼食後、福島ケルンへお参りし、夕食まで暫し休憩です(下野・大山隊員は、昨日新設した三角点のGPS器材の回収に向かいました)。さすがに疲れました。さて、今夜の夕食は、塩原隊員特製の本場北海道「鮭のチャンチャン焼」と牡蠣ご飯。今日もおしくいただきました。御馳走様でした。



1960年、第5次隊ですね

西オングルでの三角点の新設と対空標識の補修は、今回1/2500の地図を作成するため(現在は1/5000)の空撮の基準として用いるためのものです。この三角点の設置や補修は、西オングル以外でも行われ、全体で20箇所近くも行ったそうです。このような地道な活動があって、地図が出来上がっています。



道なき道を・・・



位置が狂ってないか再確認



地温計。温暖化を探る。



塩分と風化度の関係は？



対空標識 before



after お化粧直し



鮭のチャンチャン焼



牡蠣ご飯

◆ JARE57 隊員紹介

梅津 正道 (53) 越冬隊 モニタリング観測 (宙空圏変動) 福島県出身
南極観測センター 第32・48・50次越冬隊

県立福島工業高校電気科卒業後、NEC(宇宙開発事業部)に入社。第32次隊に参加し、価値観が変わり会社を辞す。TV局関係や道路公団、衛星関係の仕事と紆余曲折があり、48・50次隊ではNICT所属で電離層観測を担当。今回も退路を断ち、主としてオーロラ観測業務を担う。物が溢れ、情報が氾濫し、夢が持てなくなった時代。南極に来ると雑念が無くなり、先が見えてくる。南極にはロマンがあり、人生に行き詰ったとき、いつも南極に救われてきた。また、様々な分野のスペシャリストから学び、自分自身を再発見し、希望が開かれてきた。これぞ、南極人。南極に魅せられ虜になったお一人です。皆さんへは「あきらめない。あわてない。あせらない。」と言葉を頂きました。



風力、太陽光発電の整備(西オングル)